

2025年度 第5回 運営推進会議 議事録

- 1 日時 令和8年1月26日(月) 15:00~16:00
- 2 場所 地域密着型小規模特別養護老人ホームはぎの郷 地域交流スペース
- 3 出席者(敬称略)

利用者: ○村○久○

利用者家族: ○辺○美

市職員: ○野(法人指導課)

地域包括支援センター: ○垣○い○

知見者: ○本○一(特別養護老人ホームうおずみ施設長)

事業所: 宮武昭彦(施設長) 藤原麗子(介護支援専門員)

豊田 智恵子(介護職員)

欠席者: ○田○高(自治会長) ○戸○夫(民生委員)

4 会次第内容

(1) 開会の挨拶、施設長挨拶

2025年度の第5回はぎの郷の運営推進会議を始めさせていただきます。

(参加された利用者様、ご家族に運営推進会議の説明を行う)

まず出席者の方の自己紹介から始めさせていただきます。

(2) 出席者の自己紹介

出席者より自己紹介いただき会次第に入る。

(3) 「はぎの郷」の現状報告(介護支援専門員)

現状報告(令和7年12月31日現在)を用いながら入居者の状況及び事業所が取り組んでいるサービス内容を報告する。

5 質疑応答・意見交換

(施設長): 事故とヒヤリハットの報告は資料に載せていますが、毎回お伝えさせていただいているのですが、この施設はヒヤリハット月1枚提出が必須ということになっています。ヒヤリハットのケースは多いのですが理由と致しましては、その職員はどのレベルでヒヤリなのか? という職員のレベルを私たちのほうで把握することが1つ。それとやはり日頃慣れ合いになってくる中で、自分たちの力でヒヤリを見つけるという力ですね。予知能力と申しますか予見力と言うところを磨いて貰うという趣旨でヒヤリハットを出して頂いて

いますのでヒヤリハットの枚数が非常に多く掲載されております。また、書き方などもその職員のレベルが分かってしまうという所を把握するところもあります。書き方に複雑な書き方を書いたり、簡素に書いたり、色々ございますけれども、そちらの方も加味して頂いて見て頂けたらと思います。何かヒヤリハット事故、または運営に対してご質問や確認とかございますか？

ご意見：(うおずみ施設長)

行事の写真を見させていただいていますが、11月、12月ではないのですね？前の月の物なのですか？いつの物なのかなと思ひまして。

(介護支援専門員)：

一応、11月と12月の行事の写真を載せさせていただいています。

ご意見：(うおずみ施設長)

フロア単位ではなくて、施設全体の行事としての写真と言う事ですか？

(介護支援専門員)：

そうです。フロア単位ではなくて施設全体の行事の写真を載せさせていただいています。

ご意見：(うおずみ施設長)

なるほど。せっかくしている事なのに(現状報告の)季節行事・ボランティアの欄に書かれていないので。セラピードックや出張寿司なども。

(介護支援専門員)：

5ページの入居情報の所には書いてあるのですが、仰られている季節行事の欄には記載出来ていませんでした。

ご意見：(うおずみ施設長)

そういうことですか。分かりました。機械浴21人の方おられる。そのうち21人が2人介助となっておりますが、機械浴の方は2人介助になっていると言う事ですか？

(介護支援専門員)：

そうですね。基本機械浴の方は2人介助でさせていただいています。

ご意見：(うおずみ施設長)

ユニットで個浴にて入られている方は、1人介助でされているのですね。平均介護度が3.6にしては、多いのか少ないのか。入所してから重度になっているのか。入居された時は個浴であったのに、ADLがどうしても下がってしまって重度化して機械浴の方が増えたのか教えていただけたらと思います。

(介護支援専門員)：

最初は、個浴の方が多かったですのですけれども、入院されて、戻ってこられた時に、下肢筋力が落ちて個浴では難しいとかですね。今まで個浴で入っておられた方が、足の力が落ちて浴槽からも立ち上がるのが出来ない、危険であ

ったりということで、体格も良い方だと流石に危険ということで、機械浴に変更させていただくなどして増えている状態になります。

ご意見：(うおずみ施設長)

はい。分かりました。お風呂個浴は跨いで入って、機械は座ったままですか？
寝たままですか？

(介護支援専門員)：

寝たまま入るタイプです。

ご意見：(うおずみ施設長)

うちの施設では、もともと座ったまま入るのしか無かったのですが、2年前にそれでは駄目だろうと寝たままの物に変えたのですが、看取りの方でもタイミングを見て入浴できるので、それまでは出来なかったのです。

ヒヤリハットの所で伺いたい所があって、7～8ページにかけてC様が、結構立ち上がって、8ページの方で反り返って座っておられると書いていますが、これは普通の椅子に座っておられるのですか？

(介護支援専門員)：

そうです。普通の椅子に座っていただいています。

ご意見：(うおずみ施設長)

その時に、なにか座布団のようなものや、クッションを使用するなどの工夫されることは難しいですか？浅く座られる方なのでどうなのかなと思ひまして。

(介護支援専門員)：

そうですね。この方なのですけれども、前回の運営推進会議でもお話が出た方なのですが、帰宅願望など、いつもよりも激しい不穏状態が続いておられて、病院に受診したら脳梗塞を起こされてたという方で、その後入院をされ、戻ってこられた後のヒヤリなのですけれども、歩行で見守りで歩いてた方なのですけれども、退院して戻ってこられましたら立位や歩行時にふらつきが強くなられたり、しっかり座られてた方なので座位の維持が以前に比べると難しいところで、退院後なので様子見ながら対応させて頂いている中で、反り返るような座り方であったりとか、ふらつきがかなり強く危険なので、職員が常につき添って対応させて頂いたり、今は車椅子になってしまわれている位にADLが落ちてしまわれた方で、かなりヒヤリがたくさん挙がってきています。

ご意見：(うおずみ施設長)

そうですか。自力歩行とかされていた方で機能が落ちてきている中で起きているのかなと思ったりしていたのですが、12月に入ってまた行動が変わってこられて、大変だなと思っていたのですが。

あと、12ページのN様ですけど、点眼薬だと思うのですがご自身の点眼薬を、他の方にどうぞとされたのか？しようとしたのか分からないのですが、

自己管理されている方なのですか？

(介護支援専門員)：

そうです。しっかりされている方で、ほぼ自身の事をされて管理しておられる方なのですけれども、親切心が目が乾いているならこれ位ならと、点眼薬を使ってあげようと思ってしようとしたのですけれども、やはり衛生上は良くは無いのですが、そこまでは考えておられなかった様で、優しい気持ちでしようとした事ですが止めさせて頂いたという内容になります。

ご意見：(うおずみ施設長)

では本人様は説明されて、納得されたのかなと思います

(介護支援専門員)：

はい。その後は「それならやめておくね」と納得されていました。

ご意見：(うおずみ施設長)

分かりました。有難うございます。次にE様なのですが結構ヒヤリハットが連続して挙がっていると思うのですけれども、眠りスキャンで発見したパターンが多いのかなと思いますが、12月13日の場合であれば、もう座り込んでおられたのかどうなのかなと、事故報告になるのでしょうかけどセンサーの音がして職員が行くところけてしまっていた。と言うのはその前に防ぐのはやはり厳しいのでしょうか。

(介護支援専門員)：

はい。そうですね。この方は本当に活動的な方でして、本当に頻繁にヒヤリや事故が起こっている方なので、職員も細かく確認に行ったり、車椅子の位置を直したりさせていただいていますが、やはり認知症の強い方であり、自分で全部なんでも出来ると思われており、すごくプライドの高い方でもあるので、その辺を職員も気を付けて対応はしていますが、寝られたなと思い、側を離れたその瞬間にまた車椅子に座ろうとされたりという、なかなかずっとついている事は難しいので、職員は眠りスキャンを確認したり、こまめに訪室させていただいているので、どちらかというところ、この件数で済んでいると言っても良いのかなという方ではあります。上手に落ちられているので、今は大きな怪我をされてはいないのですけれどもただ、そのうちに大きな怪我をされるのではないかと、ご家族には今までにも自動ブレーキの車椅子などお試しでどうですか？と、打診はさせていただいてはしまして、今回もそのお話をさせていただいています。

ご意見：(うおずみ施設長)

そうなのですね。有難うございます。当施設の取り組みではないのですが、先日リスクマネジメントの研修、施設外で受けた研修があったのですがその際に弁護士の説明があったのですが、センサー 眠りスキャン等そのあたりは別

だと思うのですが、当施設では、センサーマット使っているのですが、センサーマットは外す方向で動いていますという話をされていたのです。センサーマットが鳴ってからではもう遅い。鳴ったら立ち上がっている。駆けつけたとしても間に合わなかった。という事があるから、それをきっちりご家族様とかに説明しなきゃいけないという話をしていました。センサーを付けているけれど、万能ではないですよという事を必ず説明して下さいと言われていました。センサーつけているから大丈夫。センサーつけていたらすぐ行ってくれるから大丈夫だと。でもこちらではセンサーが鳴っていても片方ではナースコールが鳴っている。ではどっちを優先するかという話は考えないといけない。一番言われていたのがセンサーのスイッチの入れ忘れ。と言うのは、施設側には過失はないかもしれないけど、誰がその時に勤務していて職員個人が、忘れてしまったとなった場合、その人がもしかしたら訴えられる可能性が出てくると言われていました。結構センサーって万能なようで、ある意味その色々な所で鳴ってしまうと職員が大変になりますよと。そのような訳で当施設では、少しずつ外していこうかと話を進めています。ご家族に説明していく機会があれば説明していきましょと。そのような事が今の世の中の風潮になっているのかなと思ひまして、研修を受けさせていただきましたので参考までにお伝えしておきます。眠りスキャンであればまた、対応は変わると思うのですが、そういう話があったと言う事を報告させて頂いております。この対応で良いと思うのですが、ご家族様もご理解いただいているのかなと思ひますが。上手く、こけるっていう言い方は悪いですが、例えば床に転倒した時に、骨折をしないようにクッションが入ったズボンの様なものを履いていただくとか、そういうのも1つの方法だと言っておられました。そういうのもありましたよと言う事をお願いしたいかなと思ひます。あとは特には大丈夫かと思ひます。

(施設長)(介護支援専門員)：有難うございます。

(施設長)：包括の方はどうですか？

ご意見：(地域包括支援センター)

ヒヤリハットの内容とは違うのですが、先ほどヒヤリハットを提出する事で、職員さんのレベルを測るとおっしゃっていたのですが、職員さんのレベルが、適切でなかった時にどのような感じで、指導されていたり振り返りがありましたら教えていただけないでしょうか？

(施設長)：はい。そうですね。例えばレベルがわかる指導と言うよりも、転倒の部分で言いますと、どの範囲で転倒レベルをヒヤリと認識しているのか、ベテラン職員になってくるともう転倒を未然に防ぐ、見守りなどがしっかり出来ていて、前を向いていても後ろに目ついてると言うのですが、そういう形で、ヒヤリ

ではなく、きちっと対応されているのだなと言うところ等で、職員のレベルを把握していき、前を向いても後ろをしっかり見てくださいね。部屋の中に利用者がおられますけれど、予知能力と申しますか、予見力をつけて利用者がどのような動きしてるか、ヒヤリを重ねていくことで利用者さんの特徴などが出てきますのでそういうものを自分のなかでインプットしていきながら介護の見守りを行ってくださいね、と言う事を小さなヒヤリでびっくりされてる職員等には指導しています。1番はやはりヒヤリの積み重ねによって利用者様のヒヤリの動きや行動が読めてくると思いますので、それを事故に未然に防ぐそういうところをしっかりと積み重ねていってくださいねと指導しています。

ご意見：(地域包括支援センター)

有難うございます。私からは以上です。

(施設長)：有難うございます。加古川市の職員の方はどうでしょうか？

ご意見：(市職員)

職員のレベルがと言うことをおっしゃられておりましたので、もしレベルが低くとしても、やっぱり経験重ねられた方と浅い方で書き方が違うとかあるだろうなど。あと捉え方、捉えるところが違っていたりと言う事もあるかと思うのですがその点はどうされているのかなというのが少し気になりましてお聞きしようと思っていた所です。ヒヤリをチェックしていくと大きな事故にならずに行けると思いますので続けていっていただけたらと思います。そして皆で共有することが大切だと思います。

(施設長)：有難うございます。当施設のヒヤリは発見した職員本人が書くのですが、提出する前にそのユニットの最低2人以上と話し合いをしてそれを元に改善策を書いてもらいます。その話し合いをした2人から3人でサイン、もしくはハンコを押すようにしています。新人の職員ですと必ず自分のヒヤリに対してその自分の経験以上の同じユニットの人に見てもらって、改善策はこうしたら良いよね。こういう形が良いよね。ユニットとしてこの様な改善策でヒヤリは対応しようねという事で、相談した上でサインをして貰ってから提出してもらい、共有とレベルアップと指導をワンセットにさせて頂いています。

ご意見：(市職員)

はい。有難うございます。

(施設長)：それでは○村様、こちらの施設の食事は美味しいですか？何か困った事などは無いですか？

ご意見：(ご利用者)

私、野菜嫌いでね。嫌いなのは少ないのだけど。一番ブロッコリーとかおくらとか、そういうのが嫌いなのです。それであまり細かくみじん切りにされたら、摘ままれないうのです。どうしても食わず嫌いになってしまうのです。

あまり、大きかったら食べづらいですけど、細かく刻まれたら、もう自分で食べようという意識がなくなってくるんです。

(施設長)：

なるほどですね。すごく大変な意見だと思います。参考にさせていただきます。お正月はおせち料理とか出ましたけど、美味しかったですか？

ご意見：(ご利用者)

味のあるものは良いですけど。おせちは美味しかったです。

(施設長)：良かったです。食べるもので何が好きですか？

ご意見：(ご利用者)

やっぱり、肉類とか、魚類とかですね。

(施設長)：他に何か、食事以外で困ったこととかありますか？

ご意見：(ご利用者)

困ったことは別にないんですけど。

(施設長)：職員さん、優しいですか？

ご意見：(ご利用者)

はい。それはね。良くしてもらっていますよ。

(施設長)：何かあったら言ってくださいね。有難うございます。家族様から見られてこうして欲しいな等の要望はありますか？

ご意見：(ご家族)

ちゃんと、してもらっていると思っていて少しのことがあっても、連絡頂けるし、全く不安はないので、逆に任せっきりですいませんと思っています。

(施設長)：有難うございます。

最後に本日欠席されている民生委員の方より、書面で質問がございましたのでそちら読ませていただいてお答えさせていただきます。

(介護支援専門員)：

では。本日はお休みされている民生委員の方よりいくつか、ご意見と、ご質問がありましたので、ご報告させていただきます。まず1つ目ですけどもドッグセラピーは、これまでなかった試みだと思います。動物、特に犬、猫は人を癒すので、これからも定期的に続けられたらと思います。秋祭り、出張寿司など、皆さん楽しそうな姿が微笑ましいということが1つです。

もう1つがヒヤリハットの報告の件で、先ほど、うおずみ施設長の方からもおっしゃっていた、C様あと2階のF様、I様、P様って言われる方が、歩行器等で歩かれている方なのかなということで、ヒヤリハットの報告が多い。特にC様は活発な方で、5件報告がありました。介護士の方々が注意し見守りされているので、まだ少ない方かもしれませんねというご意見がありました。

もう1件が、11月に1階のA様、8ページなのですがすけれども、ティッシュの件はティッシュで良かった。飲み込んでなくて良かったという事かもしれませんが、事故扱いになっていてもおかしくないヒヤリかと思えますと言う事。12月に2階のP様、11ページなのですがすけれども、ベランダ側の窓を開けてという内容で同じく事故扱いになってもおかしくないヒヤリかなというご意見がありました。P様は、歩行器使用の方なのでしょうか？と言う質問なのですが、実際歩行器ご使用の方で、お部屋の中だとその歩行器も使わずに独歩で歩いたりする方ではあります。活発に動かれるようなので、対応が大変かと思えますというご意見でした。

もう1つ、事故報告に関しまして眠りスキャンカメラは対応が早くできて効果が大きいですねってというご意見と、もう1つ、2階のE様に関しまして、7件の事故が報告されています。いずれも車椅子や、居室でのベッドからのずり落ちのようですが、怪我にならずに済んで幸いでした。対策は記載されているように見守りの強化しかないと。というご意見でした。

もう1件、2階のA様（14ページ）と、2階のR様（15ページ）は改善策の徹底をお願いします。ということですがすけれども。内容は介助している際に、ベッド柵を入れようとした時に利用者様の手の位置をちゃんと確認せずに、柵を入れたことで、剥離をさせてしまったという事故と、爪切りをさせていただいたところ、薬指の爪先を、爪切りで挟んでしまい出血してしまったという事故の報告に対して、改善策の徹底をということでご意見をいただきました。以上です

(施設長)：よろしいでしょうか？

後は、加古川市に報告を兼ねているのですがすけれども、1階のS様が去年末に入居されたのですが、お子様もおらず旦那さんは他界されていまして、遠い親戚の方が入居の手続きだけ大阪から来られて、その後色々な理由でなかなか来れないという状況の中で、S様はご自宅で愛犬と一緒に住んおられたのですがすけれども、娘のようにずっと一緒に住んでいたところが転倒して病院に入院して、歩行が困難となったので特養に来られました。娘のような愛犬と、生き別れになっている状態で、食事もう喉に通らず、病院にも入院されたりしてこのまま行くと食事による看取りになってしまうのかなと言う状況まで行ったのですがすけれども、1階の職員が、職員自らが立ち上がってくれまして、私たちがワンちゃんのお世話をするので最後、親子で住ませてあげたいと言う事で現在、居室の中でワンちゃんを飼っています。私たちの施設としては、初めて犬を飼う言うことで、試みたのですがすけれどもオープンにして犬はオクケーだよと言う事はしないのですがすけれども、やはり私たちの法人の理念の、あなたがあなたらしく暮らすって言う、その理念に基いてその方がずっと生きてきた娘である愛犬と最後一

緒に暮らしたいと言う、その人らしい生活を守るために、職員さんの協力のもと、ワンちゃんが施設に来ましたら食事もどんどん入るようになり、今ワンちゃん共々元気に部屋の中で暮らしています。でも犬が嫌いな利用者様もおられたりアレルギーのある方もいるので、お部屋の中でのみ飼うということで室内犬ですので、外には出さずに庭の方には出てもらう形にしていますけれども、一応調べたところ犬を特養で飼っても構わないということで一応報告だけさせていただきます。現状そういうチャレンジしております。宜しく願います。

ご意見：(市職員)

はい。分かりました。有難うございます。

(施設長)：他、何か質問等はございますでしょうか？

ご意見：(うおずみ施設長)

質問じゃないお願いになりますけど。次の運営推進会議が何時というのが分かればありがたいなと思います。

(施設長)：はい。あ、もう一回決まっています。

毎回 最終月曜日なのですが、今回は 3 月の 23 日になります。

ご意見：(うおずみ施設長)

3 月 23 日ですね。分かりました。

(施設長)：では、これで第 5 回運営推進会議を終わらせていただきます。今日はお忙しい中お時間を作っていただきまして有難うございました。

(一同)：ありがとうございました。

以上

次回は令和 8 年 3 月 23 日開催予定

